



支部だより

第 88 号

編集・発行

〒464-0039

名古屋市千種区日和町2-18

名古屋地方気象台内

日本気象学会中部支部

電話 052-751-5124

2019.11.12

目次

- ・ 第 23 回公開気象講座「台風」の報告
- ・ 令和元年度中部支部研究会のお知らせ
- ・ 令和元年度中部支部総会の報告

◆ 第 23 回公開気象講座「台風」の報告

日本気象学会中部支部主催の公開気象講座は、気象学に関する専門的かつ最新の知識を一般の方々に分かりやすく解説することを目的に開催されるもので、今年で 23 回目を数えます。今年は伊勢湾台風から 60 年の節目にあたり、「台風」をテーマに 6 月 16 日（日）にイーブルなごやで開催しました。松村崇行支部長の挨拶の後、気象庁アジア太平洋気象防災センターの永戸久喜 所長より「台風予報の最新技術」について、名古屋大学宇宙地球環境研究所の坪木和久 教授より「台風目の中へー航空機観測ー」と題し近年の台風の特徴と航空機による台風の直接観測について、休憩をはさみ、名古屋大学大学院環境学研究科の富田孝史 教授より「高潮から人命・地域を守る」と題し名古屋港湾を中心に高潮防災・減災について分かりやすく解説いただきました。最後に会場参加者を交えた総合討論がありました。参加者は 120 名を数え、多くの質問があり、関心の高さを感じました。

今回の講座は名古屋地方気象台および名古屋市防災危機管理局と共催、エントランスロビーにて防災に関する展示を行いました。参加者の皆様に資料配布を行い、防災・減災の啓発活動に微力ながら貢献できました。

講座当日のアンケートにて、講演資料公開のご要望を多数いただきました。講演スライド（一部非公開）を中部支部 Web 公開気象講座のページに掲載しましたので、ご興味がありましたらご覧ください (<https://www.metsoc.jp/chubu/koukaikouza.html>)。



会場写真（イーブルなごや ホール）



防災展示（エントランス ロビーにて）

◆ 令和元年度日本気象学会中部支部研究会のお知らせ

中部支部研究会を11月28日(木)～29日(金)の日程で富山大学にて開催します。ご興味のある会員の皆様、是非、会場にお越しください。講演要旨集(pdf電子媒体)は中部支部 web 支部研究会のページ (<https://www.metsoc.jp/chubu/kenkyukai.html>) からダウンロード配布しています(要旨集閲覧パスワード: ■■■■■■■■■■)。

日時: 2019年 11月28日(木曜日) 13:00～18:20 (終了後、懇親会)
11月29日(金曜日) 09:00～17:00

場所: 富山大学 黒田講堂 会議室 (富山市 五福キャンパス)

アクセス: 富山駅から市内電車「大学前」行き乗車、終点「大学前」下車



主催: 日本気象学会中部支部 共催: 富山大学 都市デザイン学部

◇ プログラム

11月28日(木) 13:00 ~ 18:20

13:00～13:10 開会の辞 松村 崇行 (中部支部長/名古屋地方気象台)

13:10～14:50

(1) 染谷 由樹 (富山大学)

ひまわり8号高頻度観測を用いた降雨開始以前の雲の発達に関する統計的解析

(2) 小野 太郎 (福井地方気象台)

深層学習による雲形判定の自動化

(3) 堀 康郎 (安田電機暖房)

衛星放送電波を用いた降雨強度の測定

- (4) 竹下 恭平 (名古屋工業大学)
真夏のグラウンドにおける風況と温熱環境の実地調査
- (5) 松本 大樹 (名古屋工業大学)
鉛直方向速度成分と気温変動の相関計測

15:05～16:45

- (6) 石田 凌雅 (金沢地方気象台)
データ同化による地衡風乱流のパラメータ推定
- (7) 加藤 茜 (三重大学)
世界の GDP 成長率と全球気候の統計的關係
- (8) 岩寄 利勝 (高岡市立中田中学校)
生徒の興味関心を高める中学校気象単元の授業実践 ―窓から気象学習―
- (9) 野澤 理紗 (名古屋大学)
孤立積乱雲のセル内部におけるあられ・ひょう領域の時間発展
- (10) 松岡 優輝 (三重大学)
三重県北部降雪への日本海の水温の影響

17:00～18:20

- (11) 石坂 雅昭 (防災科学研究所)
日本海上に形成される各種降雪雲(JPCZ、T mode、L mode)が北陸平野部にもたらす降雪粒子の特徴と強い降雪の雲物理
- (12) 太田 圭祐 (三重大学)
過去最少のチャクチ海海氷が強化した 2017/18 年冬季北半球大気循環
- (13) 竹澤 滉裕 (東海大学)
日本海側降雪量変動と海面水温との関係
- (14) 中村 祐貴 (三重大学)
関東降雪現象における大気循環の過去と近年の変化

19:00～21:00 懇親会 酒と人情料理「だい人」(富山駅前)

11月29日(金) 09:00 ~ 17:00

09:00～10:40

- (15) 進藤 愛可 (富山大学)
局所的な SST と組織化降水システムの降水特性との関係
- (16) 伊藤 忠 (日本気象予報士会東海支部)
平成 30 年台風第 24 号通過時に形成された副低気圧と気圧の谷
- (17) 神谷 圭 (富山大学)
熱帯海洋上の対流活動における大陸由来のエアロゾルの影響
- (18) 峯 大誠 (三重大学)
西日本を西向きに横断した台風と寒冷渦との相互作用
- (19) 引地 祥子 (富山大学)
上層雲の広がりに対する降水と温度成層の影響

10:50～12:30

- (20) 中西 幸太郎 (三重大学)
終戦を促した昭和 20 年大冷夏
- (21) 中村 元大 (東海大学)
気象庁 137E 定線における表層海況の長期変動特性
- (22) 中西 友恵 (三重大学)
サヘルの対流活動に伴う熱源がもたらす中高緯度への遠隔影響
- (23) 中村 皓大 (富山大学)
南米西岸沖における層積雲の日周変動とその長期傾向
- (24) 杉原 直樹 (三重大学)
南極振動由来のソマリジェットがつなぐ南北半球間テレコネクション

13:20～15:00

- (25) 濱島 綾袈 (富山大学)
立山ミドリガ池流域の融雪特性
- (26) 衛本 雄太 (富山大学)
富山における積雪形成時の気象条件
- (27) 堀川 翔子 (富山大学)
冬季北陸における降水粒子撮像観測に基づく粒子タイプ判別および気象場との比較
- (28) 高橋 佳子 (富山大学)
ディストロメーターと地上直接観測による降雪粒子形状の評価
- (29) 渡部 瑠梨 (富山大学)
Degree-day 法による富山県の融雪特性

15:10～16:30

- (30) 富山 芳幸 (気象環境教育センター)
減災のために、気象情報の流れを利用者にフォーカスして組み替える
- (31) 八木 雅文 (東海大学)
全球海上風応力格子データセットの相互比較
- (32) 小泉 あゆみ (東海大学)
海上風日平均値に対する複数衛星利用の影響
- (33) 福永 広重 (東海大学)
異なる海上風データ(NCEP 及び QSCAT)を用いた OFES 結果の再現性の検証

16:30～16:50 特別講演 「宇宙から観る雲と雨」
濱田 篤 富山大学 准教授

16:50～17:00 講評・閉会の辞
安永 数明 富山大学 教授 (中部支部理事)

講演時間は 20 分 (講演 15 分、質疑応答 5 分)

◆ 令和元年度 中部支部総会の報告

日本気象学会中部支部総会が6月26日（水）15時から名古屋地方気象台会議室で開催されました。開会の辞、松村崇行支部長の挨拶の後、名古屋地方気象台の三井会員を議長に選出、議事を進行しました。事務局から出席者数と委任状集計の報告があり、総会成立条件を満たすことを確認、その後、支部だより第87号に掲載された議案(1)～(5)について審議されました。

議案(1) 2018年度（平成30年度）事業報告

事務局より、支部だより（第85号、第86号）発行、第22回公開気象講座、支部研究会と気象サイエンスカフェの開催について報告があり、承認されました。

議案(2) 2018年度（平成30年度）中部支部会計報告

事務局より、2018年度の会計報告があり、承認されました。

議案(3) 2018年度（平成30年度）中部支部会計監査報告

会計監査より、2018年度の支部会計が適正に処理されている旨の報告があり、承認されました。

議案(4) 2019年度（令和元年度）中部支部事業計画案

事務局より、以下の事業計画が提案され、承認されました。

- ・支部だより（第87号、第88号）の発行
- ・第23回公開気象講座「台風」の開催（6月16日 イーブルなごや）
- ・令和元年度中部支部研究会の開催（11月28日～29日 富山大学）
- ・気象サイエンスカフェの開催
名古屋で10月と2月の2回、長野・北陸地区で1回の開催を計画。

議案(5) 2019年度（令和元年度）中部支部予算案

事務局より、今年度の事業計画に基づいた予算案の提案があり、承認されました。

◆事務局からのお願い

日本気象学会本部および中部支部から各種案内を電子メールにて配信しております。ご案内が届いていらっしゃらない会員の皆様、ご面倒をおかけしますが、

日本気象学会 会員情報変更ページ

<https://www.metsoc.jp/membership-2/update-2>

から最新の電子メールアドレスのご登録をお願いいたします。